

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 兵庫県立文化体育館 Jコート

試合区分: No. 422 少年女子 2回戦

期 日: 2006(H18)年10月2日(月)

主審: 春田 加織

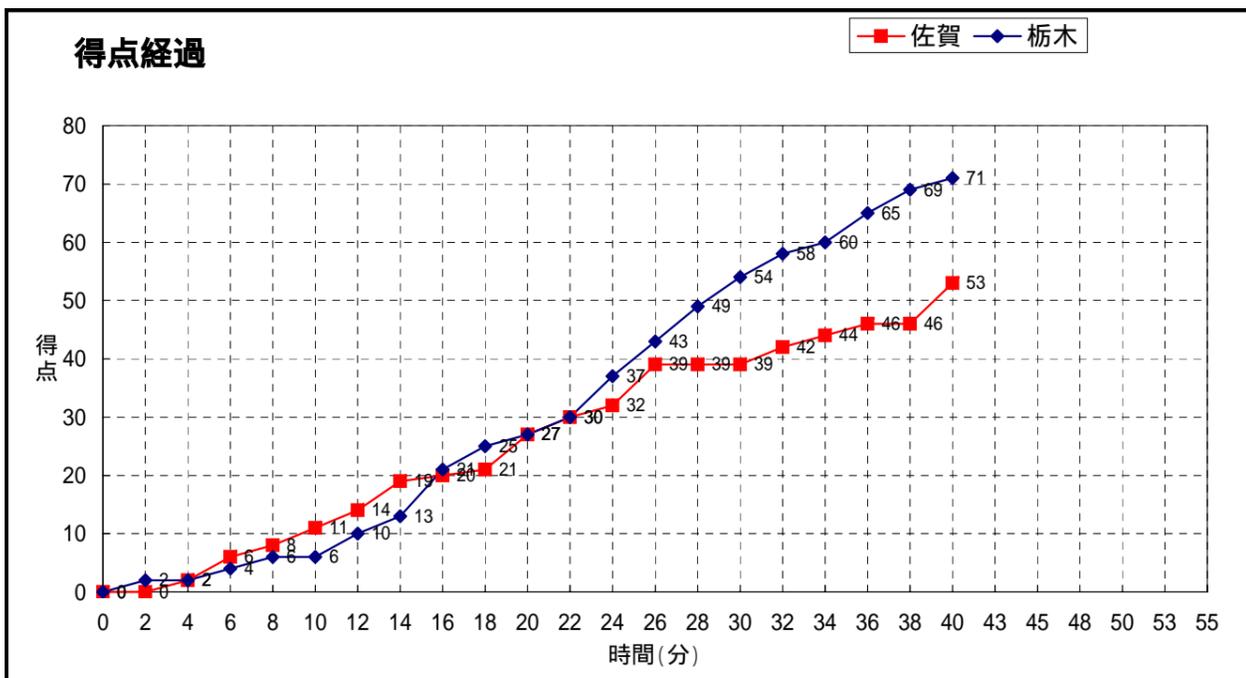
開始時間: 11:45

副審: 久米 克弥

終了時間: 13:14

栃木						佐賀									
(関東)						(九州)									
71						53									
6 -st1- 11 21 -2nd- 16 27 -3rd- 12 17 -4th- 14 -OT1- -OT2- -OT3-															
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	大塚 早織	19	3	4	2	3	4	*	武藤 唯	2	0	1	0	2
5	*	高橋 美沙	6	0	3	0	2	5		岸川 礼奈	7	0	2	3	0
6	*	柴原 麻理恵	8	0	4	0	2	6		中島 好子	3	1	0	0	0
7	*	後藤 あゆみ	18	0	7	4	4	7		深通 真理子	3	0	0	3	0
8		石川 あゆみ	4	0	2	0	1	8	*	御厨 麻純	3	1	0	0	0
9		山田 早希子	2	0	1	0	1	9		深野 巴瑠	0	0	0	0	0
10		山口 葵	0	0	0	0	0	10		奥澤 美里	1	0	0	1	1
11		飯塚 可奈	3	1	0	0	2	11		内田 綾香	10	2	2	0	2
12		臼井 美陽	0	0	0	0	1	12	*	今村 巳穂	13	0	5	3	4
13	*	山崎 菜央	6	0	3	0	3	13	*	古川 千帆	5	0	2	1	1
14		上野 麻友子	0	0	0	0	0	14	*	緒方 久律子	4	0	2	0	2
15		佐々木 和菜	5	1	1	0	2	15		安心院 智子	2	0	0	2	0
コーチ		香山 孝之						コーチ		貞松 義人					
合計			71	5	25	6	21	合計			53	4	14	13	12

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル



ゲームレポート

第1ピリオド、佐賀はハーフコートマンツーマン、栃木はオールコートマンツーマンでゲーム開始。両チームともなかなかボールが手につかず、無得点のまま2分間がすぎた。初得点は栃木#6柴原のジャンプシュート。その1分後、佐賀#13古川が速攻からのレイアップを決めたが、残り5分までそのまま主導権争いが続いた。佐賀は#4武藤と#5岸川らの速攻などで引き離しにかけ、佐賀が11-6として第1ピリオド終了。

第2ピリオド、激しいディフェンスでボールラインを押し上げた栃木が#6柴原のスティールからのレイアップなどで追い上げ、残り3分、ついに#7後藤がゴール下のシュートを決めて逆転。しかし、栃木は激しいプレッシャーをかけたことからチームファウル5つを超え、佐賀にフリースローを与えたこと、佐賀がスピードある#4武藤、#5岸川を再び揃えて追い上げたため、残り1分を切ってから、佐賀が#11内田の3Pシュートで27-27の同点に追いつき、前半終了。

第3ピリオドは、栃木#4大塚、佐賀#8御厨の3Pシュートの応酬で始まった。栃木は前半同様、激しいプレッシャーをかけ佐賀のミス誘うが、佐賀もよく我慢し、離されまいとついていく姿勢を見せた。残り5分、栃木#7後藤がスティールからの速攻を決めて7点差とすると、続けて#4大塚のレイアップ、再び#7後藤を走らせての速攻などで、残り2分には栃木49-39佐賀と一気に得点差が開いた。佐賀もタイムアウトを取るが流れは変わらず、残り数秒で栃木#15佐々木の3Pシュートが決まり、栃木が54-39として第3ピリオド終了。

第4ピリオドは、栃木に少し疲れが見られてファウルが目立ち、残り7分でチームファウル5つを越えてしまう。栃木はオフェンスのペースを少し落としながらも、激しいディフェンスを最後まで止めなかった。特に#13山崎の気迫あふれるディフェンスが、疲れた味方を元気づけた。佐賀は、#4武藤、#5岸川、#6中島らのスピードを生かしたボール運びで活路を見出そうとし、最後まで全力を尽くして戦ったが、オフェンスの寄せ、詰めの甘さに涙をのんだ。

担当者: 阿部 俊(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会